

＜患者様へのお知らせとお願い＞（例）

（Ver.1.0 令和8年1月1日作成）

当院では、入院中の患者さんの便秘に対して、超音波検査による評価結果を治療に反映させ、患者さんの症状改善に役立つ治療法の確立を目的とした臨床研究を実施しています。このため該当する患者様に調査・研究へのご協力をお願い申し上げます。

- ◇ 研究課題 超音波画像診断による便秘アセスメントを活用した排便ケアの質向上に関する研究
- ◇ 研究期間 令和8年1月から令和9年3月
- ◇ 目的 便秘患者の腹部の超音波検査による評価が、適切な治療法の選択と有効性に及ぼす効果を明らかにすることです。
- ◇ 対象 令和7年5月から12月に入院し、便秘に対して超音波検査を実施した患者さんです
- ◇ 方法 患者さんの年齢、入院の原因となった病気、各種の検査の結果などと超音波検査の結果との関連や、実際に行った様々な治療の効果を比較検討します。
- ◇ 使用する診療情報 通常の診療の一環で実施された血液検査その他の検査結果や臨床経過で、本研究のために新たに検査を追加したものではありません。
- ◇ 情報を共有する範囲：武田総合病院内でのみ実施します。
- ◇ 倫理委員会の承認について 本研究は令和8年1月の倫理委員会で承認されています。
- ◇ 予想される研究の効果と副作用 超音波検査による評価が入院中の便秘の適切かつ合理的な治療選択に結び付く可能性があります。既存資料を用いる観察研究であるため、副作用はありません。
- ◇ 人権、プライバシーの保護 患者の個人情報適切に保護されます。
- ◇ 患者様への費用負担について 通常診療以外の追加の費用負担はありません
- ◇ 学術発表の予定 令和8年7月の日本創傷・オストミー・失禁管理学会での発表を予定していますが、個人を特定できる情報は完全に保護され公表されることはありません。
- ◇ 知的財産権の帰属 本研究の知的財産権は研究代表者と医仁会武田総合病院に帰属します。
- ◇ 収集した情報の将来の二次利用の有無 本研究でのデータを将来の研究に二次利用することがありますが、その場合は、あらかじめ倫理委員会の審査・承認を得て行います。
- ◇ 研究参加の辞退・同意撤回について 本研究に同意されなくても治療上の不利益を生じることは一切ありません。
- ◇ 研究実施の資金・利益相反 本研究での利益相反はありません
- ◇ 研究組織
研究責任者 氏名・所属 中本深雪 看護部

尚、この研究への参加を希望されない場合やご質問がある場合は、下記担当医までご連絡ください。

問い合わせ先

研究責任者

医仁会武田総合病院 看護部

氏名 中本 深雪